

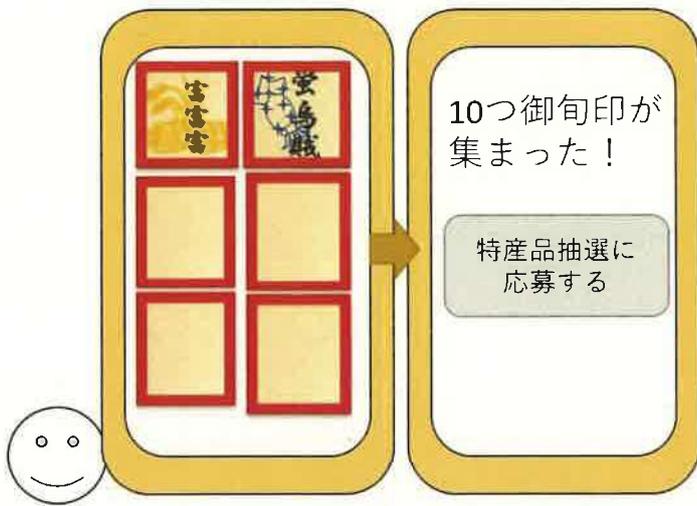
最優秀賞

応募者：鹿島 礼入さん（30代、神奈川県在住）

アイデア（アプリ）名	御旬印集めアプリ		
テーマ	・規則正しい食生活 ・地産地消	・栄養バランスのとれた食事 ・食品ロスの削減 ・食品安全	・伝統料理や郷土料理の伝承 ・その他（富山の旬）
アプリの概要（どんなアプリなのか。箇条書きでも可）			
<ul style="list-style-type: none">・人気のある御朱印のように、富山の旬をテーマにした「御旬印」を集めるアプリ。 （子供から大人まで一般の富山県民がユーザー）・旬を認識することや旬を盛り上げること、地産地消の意識を高めることが目的。・アプリで、富山県の旬の特産品のスタンプ（御旬印）を集め、たくさん集めると特典がある（特産品が当たる、イベントへの参加権がある）。イベント時などには限定版の配信などを行うことで、場に人が集まることが期待できるほか、集める楽しさと共に旬を意識し学べる。・スタンプは、旬を感じる場面と場所で配信する。			
アプリの特徴（何をやるアプリなのか？どのように使うのか？どのような機能があるか？など）			
<ul style="list-style-type: none">・旬を感じる場所にいる人にスタンプへ配信する。配信には、Wi-Fi や bluetooth の機能を使用する。・アプリへのスタンプ配信は、所定の場所にいる人たちへ一斉に配信する方法や、専用の端末と通信して配布する方法を準備。・スタンプの配信時期と場所は、漁の解禁日午前中の漁港（ほたるいか、紅ズワイガニ）や、富富富のリリース日に県内イベント会場、伝統加工品（あんぼ柿など）の出荷開始1週間、製造工場や直売所など、旬を感じられる場所と時期を選定する。・将来的に、スーパーなどでも通常の県産のものを買う身近な場面でのスタンプ配信も出来るようにし、地産地消の推進も担う。・本アプリを通じて旬の場面で人が集まることで、皆が注目し、旬を盛り上げようという雰囲気や認識を生み出し、「富山の旬」の良さを県内、県外へ発信しやすい土壌を作ることができる。			
別紙 イメージ図			

○審査委員からのコメント

- ・ネーミングがよい。
- ・スタンプを集めるゲーム性が面白い。親子や友達同士でスタンプ集めの競争もできる。
- ・指定場所に行ってスタンプをもらうなど、アプリにしかできない要素が入っている。
- ・イベント等の指定場所でのスタンプ配信は難しいと感じるが、手に入りにくいものをわざわざ取りに行くのも流行りなので、チャレンジする価値はある。
- ・各種イベント（野菜、魚、特産品等）で人を集めるツールにも使えるし、アプリっぽくて面白そう。



← 御旬印が集まり、アプリ上から特産品の抽選に応募できる

富富富のリリース日にイベント会場で御旬印を配信する例（購入特典とし、一人ずつ対面配信するパターン） →

富富富リリース日@県内イベント会場



ほたるいか漁解禁日@滑川漁港



← ほたるいか漁解禁日に漁港で御旬印を配信する例（会場の起動しているアプリに一括配信するパターン）